

東京モーターショー・シンポジウム2019

世界と日本のロードプライシング

2019年10月28日

日本交通政策研究会

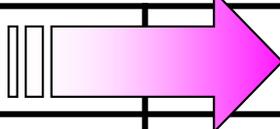
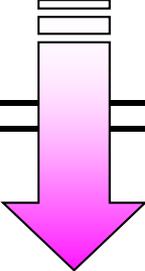
参考文献:

根本・今西(2017)『道路課金と交通マネジメント』、成山堂書店、
日本交通政策研究会研究叢書31

日本交通政策研究会(2018)『維持更新時代の道路課金と大型車交通マネジメント』日交研シリーズA-715

日本交通政策研究会(2019)『欧米における道路課金・デジタルタコグラフ』
日交研シリーズA-746

ロードプライシングの世界的動向

	固定料金 	対距離課金
<p>インフラ費用の回収（持続可能な財源調達）</p> 	<p>橋/トンネルの通行料金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェー等各国 <p>ユーロビニエット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北欧諸国、英国（大型）、旧東欧（乗用車） 	<p>有料高速道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来より南欧諸国など <p>大型車対距離課金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ(高速と国道、最近は大気汚染含む)
<p>混雑緩和、環境改善（効率的な道路利用）</p>	<p>混雑課金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロンドン（昼間・固定型）、シンガポール（混雑時・定期見直し型）、米国HOTレーン（混雑時、動的課金）、日本首都高オリパラ（昼間・固定型？） 	<p>大型車対距離課金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイス（社会的平均費用）、ベルギー（首都圏は高額） <p>全国全車種対距離課金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランド、（シンガポール導入？）

ロードプライシング：広義では道路の使用に対して料金・税金を課すこと。
 狭義では混雑時間帯の混雑道路の使用に料金・税金を課すこと。

